



## 児童労働反対世界デーキャンペーン 2011

6月12日は国際労働機関(ILO)が定めた「児童労働反対世界デー」です。児童労働ネットワーク(以下 CL-Net)はこの日をまたぐ5月から6月の期間に児童労働反対世界デーキャンペーンを実施し、キャンペーンを通じて児童労働のことを知る人、行動する人を増やし、児童労働のない世界を目指しています。6年目となる2011年は、「身近なアクションで児童労働をなくそう!」をテーマに掲げ、5月5日から6月30日の約2ヶ月間に渡ってキャンペーンを展開し、賛同した団体が日本の各地でイベントを開催し、児童労働をなくすためにできるアクションを提示していきました。



### News 1

6月12日の児童労働反対世界デーに三者共催でイベントを開催し、329名が参加しました! (p.2)

### News 2

日本政府に提出する署名が21万2346筆集まりました! (p.3)

### News 3

CL-Net 主催で、公開研究会「ISO26000-ラギー・フレームワークと児童労働の関係性」を開催しました! (p.4)

### News 4

キャンペーンに賛同した36団体が、全国各地でイベントを開催しました! (p.4~5)

### その他の取り組み

#### ●今年のテーマは「身近なアクションで児童労働をなくそう!」

「ひとつは自分に、もう一つはもだちに」をコンセプトにしたオリジナル缶バッジの販売や、イベントやウェブサイトを通じてアクション呼びかけました。

#### ●Twitter でつぶやきました!

キャンペーン期間中に Twitter でのつぶやきを強化し、多くの方に児童労働を伝えました。

#### ●6月12日のメインイベント参加者と、STOP CHILD LABOUR の記念撮影を行いました!



6月12日のメインイベントにて

## 映画上映会 & シンポジウム

### 「ファッションで世界を変える～危険・有害労働から子どもを守るために～」

開催日:2011年6月12日(日)  
時間:13時45分～18時00分  
場所:文京学院大学 仁愛ホール(東京都文京区)  
共催:NGO-労働組合国際協働フォーラム  
ILO(国際労働機関)駐日事務所  
児童労働ネットワーク  
参加者数:329名、スタッフ:70名

ILOが定めた児童労働反対世界デーの2011年のテーマは、「危険・有害労働」。そこで今年のメインイベントでは、子どもの危険・有害労働の存在が指摘されている分野の一つである衣料産業、ファッションに着目し、「ファッションで世界を変える」のタイトルで、働く子どもたちの置かれている状況を知り、私たちに何が出来るのかを考えていきました。

第1部は、日本の子どもたちによる児童労働の演劇で始まりました。迫真の演技を見せてくれたのは(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)のアクションキッズのメンバーです。学校に行きたくても、生きていくため、また家族を支えるために働かなければならないインドの子どもたちが置かれている状況を、同年代の子どもたちが演じたこの劇は、参加者の心に響くものでした。



迫真の演技をする  
アクションキッズのメンバー

ILO 長谷川氏の講演

今回の上映映画は、『バングラデシュの衣料工場で働く女工たち』。バングラデシュの衣料工場で働く女の子たちにスポットライトをあてたドキュメンタリー映画です。私たちが着ている衣服が作られている現場の実情を知り、私たちもこれらの問題に関係していることを実感しました。第1部の最後は、ILO 駐日事務所代表・長谷川真一さんの基調講演。今年度のテーマである「危険・有害労働」の実態についての共有をしていただきました。



会場が釘付けとなったスペシャルゲストトーク

第2部のスペシャルゲストトークでは、ゲストに、ファッションモデルの富永愛さん、ナビゲーターにアンドレア・ボンピリオさんをお迎えし、児童労働ネットワーク事務局長の岩附を加えた3名で、ご自身が体験したファッションと児童労働の関係についてお話していただきました。ゲストのおふたりの、「メディアを通じて情報を発信する側の責任として、これからも児童労働について伝えていく」という言葉は、とても熱意に満ちたものでした。

最後は、児童労働問題に衣料産業・ファッションの観点から取り組んでいらっしゃる方をお迎えしてのパネルディスカッション。パタゴニア日本支社の篠健司さん、ピープル・ツリーの胤森なお子さん、ACEの成田由香子さん、SFCCの牧野祥子さんがそれぞれ企業としてのサプライチェーンの管理や考え方、フェアトレードの取り組みや促進、また衣料の原料であるコットン産業における児童労働に対する取り組みをそれぞれ紹介して頂きました。会場からの質問に対して、それぞれのパネリストの方々が思うところを語ってくださり、活発な議論の場となりました。



ボンピリオ氏と成田氏



篠氏、胤森氏、牧野氏

会場ロビーでは、NGOを中心とした17団体がブースを出展し、児童労働をなくすためにどのような活動をしているのか、ご来場いただいたみなさんに直接ご紹介しました。また、ロビーの一角には、ご来場いただいたみなさまにご自身ができる児童労働をなくすためのアクションを貼っていただくスペースが設けられており、多くの方々が思い思いのアクションを書いてくださいました。



賑わいをみせる団体ブースのエリア



みなさんの「アクション」が詰まったモニュメント



モニュメントにご自身のアクションを貼る富永愛氏

## ●「世界から児童労働をなくそう！署名」過去最高の21万2346筆！

児童労働反対世界デーキャンペーンでは、キャンペーンの一環として2008年から「世界から児童労働をなくそう！」署名活動を行っています。4年目となる2011年は「世界から児童労働をなくそう！署名」として、日本政府に児童労働の現状を十分に考慮し、撤廃のための具体的な行動計画の策定等を求めています。

キャンペーン期間の2011年5月5日から7月31日まで、約3ヶ月間の署名活動を展開したところ、全国の個人・団体から「児童労働をなくそう！」の声が続々と届き、昨年を上回る**21万2346筆**の署名が集まりました。ご協力いただいたみなさま、児童労働をなくすためのアクションを起こしていただき、誠にありがとうございます。ご協力に心から感謝申し上げます。

CL-Netは今後、この署名を外務省、文部科学省、厚生労働省へ提出し、要請事項の実現に向けて働きかけていきます。提出の様子はCL-Netのウェブサイトで随時ご紹介していきますので、是非ご覧ください。



全国から集まった署名用紙  
ご協力ありがとうございました！

### ●これまでの署名数実績

2008年 目標1万人 → 12,004筆  
2009年 目標3万人 → 74,396筆  
2010年 目標10万人 → 200,036筆

### 児童労働反対世界デーキャンペーン 2011 世界から児童労働をなくそう！署名 児童労働撤廃に向けた行動計画策定を！

外務大臣殿  
文部科学大臣殿  
厚生労働大臣殿

世界には2億1500万人の子どもたちが、十分な教育を受けられないまま、児童労働を強いられています。残念ながら、アフリカや15-17歳では、児童労働が増えています。

2010年9月のミレニアム開発目標(MDGs)国連首脳会合の成果文書で、目標1(極度の貧困の撲滅)に、社会経済開発、貧困撲滅プログラム、普遍的教育等の国際協力・援助を通じての最悪の児童労働撤廃に向けての取り組みがうたわれました。

1、日本政府が貧困削減や教育支援の国際協力を行うにあたって、児童労働の現状を十分に考慮し、撤廃のための取組を組み込んで下さい。

2016年までに「最悪の形態の児童労働」(\*)をなくすことを、国際社会は約束しています。2010年5月オランダ・ハーグで開催された児童労働世界会議では、「最悪の形態の児童労働」をなくすための工程表を定めました。この工程表も含めた児童労働撤廃のための「グローバル行動計画」(2010-2016年)が2010年11月のILO理事会で定められました。

2、2016年までの「最悪の形態の児童労働」撤廃の国際目標が達成できるよう、日本政府の国際協力を強化して下さい。

3、国際条約の締約国として、日本もまた、「最悪の形態の児童労働」を根絶するために、具体的な措置を直ちに講じることが義務付けられています。日本政府は、世界から「最悪の形態の児童労働」を根絶するための、日本の行動計画を策定して下さい。

\* 「最悪の形態の児童労働」とは、ILO182号条約に定められている、撤廃に向けた即時の行動が求められる児童労働を指します。債務労働、人身売買、子どもポルノ・買春、子ども兵士、危険・有害労働等を指します。日本は2001年にこの条約を批准しました。

## ● キャンペーン2010「児童労働をなくそう！10万人署名」提出報告

### ●外務省、厚生労働省、文部科学省に署名を提出しました！

昨年実施したキャンペーン2010では、目標を大幅に超えた200,036名の署名を集め、2010年10月に小宮山厚生労働副大臣、伴野外務副大臣、笠文部科学政務官に直接提出し、要請を行いました。各提出の際には、CL-Netと署名の主旨をご説明し、児童労働の撤廃に向けて日本政府が行動計画を策定するよう要請を行いました。厚生労働省と文部科学省への提出には、CL-Netの会員団体メンバーの中高校生も出席し、直接日本の子どもとして児童労働への思いを表明しました。

各副大臣・政務官は、署名を大臣へ届けることを約束され、また児童労働の撤廃に向けて協力して取り組んでいきたい、といったコメントもいただきました。

※詳細はCL-Netウェブサイトをご覧ください。

※副大臣及び政務官は全て当時です。

(右上) 小宮山厚生労働副大臣と

(右下) 伴野外務副大臣と

(左下) 笠文部科学大臣政務官と



## ●キャンペーンイベントレポート

今年のキャンペーンは、福岡、大阪、千葉、東京の各地で**11**のイベントが行われ、**2,484**名が参加しました

### ～児童労働キャンペーン主催イベント～

#### 公開研究会「ISO26000-ラギー・フレームワークと児童労働の関係性」東京／児童労働ネットワーク／5月16日(月)

児童労働ネットワーク運営委員の寺中誠（東京経済大学現代法学部 客員教授／（社）アムネスティ・インターナショナル 日本 前事務局長）が講師を務め、企業と人権に関する国連文書であるラギー・フレームワークと児童労働の関係性について説明しました。

ラギー・フレームワークとはハーバード大学教授で国連グローバル・コンパクトをコフィ・アナン前事務局長と共に立ち上げた経験を持つジョン・ラギー氏によって人権理事会に報告された内容を指します。これは、国際標準化機関（ISO）によって昨年制定された社会的責任に関する規格 ISO26000 にも企業の人権尊重責任の観点から大きな影響を与えたとされています。児童労働ネットワークでは、ラギー・フレームワークや ISO26000 によって企業の社会的責任における児童労働に対する考え方に変化が起きると考え、このような研究会を開催しました。社会的責任に関する記述の中で特に児童労働と関係が深い3つの社会的責任とは、従業員の人権、サプライチェーンの中の人権、コミュニティの人権です。これまで、サプライチェーンやコミュニティにおける児童労働問題は企業の社会的責任の範疇として考えていない企業が多くありましたが、今回これらの文書により社会的責任の中に位置づけられることがわかりました。参加して下さった方々は企業や NGO 関係者が多く、みなさん真剣なまなざしで講師の話に聞き入れられ、その後の活発な質疑応答からも、みなさんの意識の高さが強く伝わってきました。

#### 国境なき子どもたち写真展 2011

#### 「『コヒスタン、瞬く瞳の中で』～パキスタンの子どもたち～」

東京／(特活)国境なき子どもたち(KnK)／

4月28日(木)～5月18日(水)

2010年7月下旬に集中豪雨に見舞われ大洪水が発生した、パキスタン北西部のハイバル・パフトゥーンハー州の山岳地帯にあるコヒスタン郡の子どもたちの様子をフォトジャーナリストの渋谷敦志氏の写真を通して紹介しました。5月14日のギャラリートークには約100名がご参加くださり、例年司会をお引き受けくださっているフリーアナウンサー渡辺真理さんのナビゲートのもと、渋谷敦志氏が、KnK 活動地であるコヒスタンの様子や現地の子どもたちから感じたことのほか、展示作品や KnK の活動について語りました。くり返し大きな自然災害に見舞われながらも、コヒスタンでひたむきに生きる子どもたちの姿を、渋谷氏の写真を通じたくさんの方に身近に感じていただくことができました。



#### THINK AGAIN vol.9

東京／NPO 法人 THINK AGAIN 実行委員会／4月28日(木)

THINK AGAIN は、ベジタリアニズムを通して環境問題や飢餓、貧困問題、動物の権利の問題などについて、みなさんと一緒に考えていくイベントです。当日は、THINK AGAIN の発起人である、SIPBALED CLONE によるライブが行われ、都内のベジタリアンカフェやレストランが菜食料理を用意するほか、NPO や NGO の展示ブースが設置され、各団体と主催者とのトークタイムがありました。グッドネーバーズ・ジャパンは3度目の参加になり、今回は東日本大震災の復興支援と、児童労働の話を「日本が大変な状況である今、なぜ途上国の支援もしているのか」ということも織り交ぜてお話ししました。来場者の方はエコロジーや社会貢献に関心のある層が多く、普段身につけている安くて質のいい衣料



品などが、実はインドやバングラデシュで児童労働により作られている可能性があるという話を、驚き、頷きながら聞いて下さいました。

#### プラン・おとなスクール

#### ～子どもたちが見た、児童労働の現実～

東京／(公益財団法人)プラン・ジャパン／

5月11日(水)～6月25日(土)計6回

5・6月の「プラン・おとなスクール」を児童労働特別編「子どもたちが見た、児童労働の現実」として実施しました。児童労働の定義・要因を説明した後、短編映像「タバコで身体を壊す子どもたち」、続いて「カマラリ～家事労働を強いられる女の子たち」を上映。児童労働における女の子の過酷な現実について紹介しました。後半では、児童労働に対するプランの取り組みとして、「直接的な被害者支援」（子どもの保護、医療、非公式教育、職業訓練、心のケア）と「予防：児童労働を生み出さない社会づくり」（アドボカシー、子ども・住民の能力強化、啓発、出生登録、学習環境の改善、世帯の収入向上）を説明しました。参加者から、「児童労働の現実日本でも普通に生活していると見過ごしてしまいがちだけれど、おとなスクールに参加したことをきっかけに今後意識して日々生活していきたい」などの感想が寄せられました。



#### Fair Trade ・ Towns and Forests

#### 世界フェアトレードデー 2011 in 東京

東京／「世界フェアトレード・デー2011 in 東京」委員会、

(社)フェアトレードタウン・ジャパン／5月14日(土)

最初にフェアトレード団体による東日本大震災の報告をした後、原発事故で出荷制限を受けた有機野菜生産者の方より、農家の取り組みについてお話いただきました。フェアトレードと森のつながりについてのシンポジウムでは、スロー



ウォーターカフェとチョコレボより、現地での取り組みを報告しました。エコプラザからは、国内の間伐材を使用して森を守る「割箸=和 Re 箸」プロジェクトについて紹介しました。ピープル・ツリー／グローバル・ヴィレッジ代表のサフィア・ミニーは、震災にあたって世界のフェアトレード生産者から受けたメッセージの紹介と、フェアトレードが目指すことについて発信しました。最後に、フェアトレードを通じた地域活性化とまちづくりを考える「フェアトレードタウン・ジャパン」発足記念シンポジウムも開催されました。

## チャリティーバザール

千葉／(特活)日本ファイバーリサイクル連帯協議会／

6月5日(日):柏会場、12日(日):千葉会場

フリーマーケットや市民団体による物販・飲食販売の他、地元農家さんによる産直野菜販売、餅つき、チャリティーコンサート、紙芝居、子どものあそびコーナー、スピーチなどが行われました。JFSA はフリマ会場の公園入口にテントブースを設営し、JFSA の活動紹介、パキスタンのアルカイールアカデミーに通う子どもたちの児童労働などについて伝える場とし、キャンペーンバッジの販売も含めて行いました(千葉会場のみ)。



会場内のチャリティーコンサートの合間でこのイベントが児童労働反対世界デーキャンペーンへ賛同する企画であることをアナウンスでお伝えしました(千葉会場のみ)。

\*イベント開催による収益(出店参加費や餅販売収益など)は JFSA の活動を支える活動支援金とさせていただきます。

## STOP!児童労働アクション

大阪／(社)アムネスティ・インターナショナル日本／

6月10日(金)、11日(土)、23日(木)

今年はチャドの子ども兵士反対のためのアクションキットを用意し、参加者の方と手紙を書きながら、お茶やお菓子と色んな話をしました。6月23日には修学旅行生の事務所訪問があったため、アムネスティの説明の後でアクションに参加をしてもらいました。



## 「世界から児童労働をなくそう!」街頭署名活動

福岡／(特活)ソルト・パヤタス／6月12日(日)、19日(日)

この日福岡地方は早朝から土砂降り、人通りも予想以上にまばらで私たちの呼び声が空しく町中に響いていました。署名用紙やチラシを差し出すとすぐに雨に濡れてしまい、通行人に積極的にアプローチで



きな状態でした。そんな困難な状況の中でも、10人以上の方が足を止めてご自身も雨に濡れながら署名をして下さいました。この日はやむなく12時頃撤収し、一週間後の19日に気を取り直し再び行いました。19日もあいにくの雨でしたが、

学生さん達も「立ち止まってもらえません・・・」とへこみながらもよく頑張ってくれました。人の温かみに触れることができた2日間でした。

## めっちゃ学校行きたいねん! 御堂筋ウォーク 2011

大阪／(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、  
(特活)国際子ども権利センター／6月12日(日)

当日は悪天候となりましたが、小学生から社会人まで50名近くが参加してくれました。



中之島公園女神像前で集合し、その後2時頃から4時頃まで御堂筋を南下し、参加者で歩きました。当日は、各自自分の

服の好きなところに、CLネットのロゴを印刷した紙を貼ってあるきました。集合時、ポツポツ程度だった雨も大分降ってきて傘を持っての行進となりました。高校生を始め、みんな参加者の多くが「ストップストップ児童労働、子どもたちには教育を!」と声をかけ、その後みんなで続いて訴えかけました。歩行者の人たちも足を止めて見るなど、一般の方々へ児童労働の問題について訴えることができました。このウォークを通してどんな人でも問題に対してアクションを起こせると参加者は感じたと思います。これをきっかけにどんどん児童労働だけではなく世の中の問題に目を向けて自らアクションを起こしていく人が増えるよう、今後も働きかけていきたいです。

## My film Your film—世界の子もたちから—(写真展)、 「Tony's Chocolonely

—チョコレート業界に立ち向かった男—(上映会)

東京／ACE 学生チーム PeACE／

6月18日(土)、19日(日)

今回の写真展では①教育(Education)②日常(Life)③児童労働(Child Labour)という3つのテーマで写真を展示しました。キャンペーンの期間中に開催ということで、来場者に過酷な児童労働という現状を知ってもらい、PeACEの活動のこと、母体団体ACEのことなどを知ってもらう機会としました。来場者との交流を大事にし、写真を通じてのメッセージやACE・PeACEの活動などを積極的に紹介しました。



写真展と同会場にて2月のPeACEイベントでも上映した「Tony's Chocolonely—チョコレート業界に立ち向かった男—」の上映会を開催しました。参加者には無印良品のフェアトレード紅茶・TONY'S CHOCOLONELYのチョコを食べながら、上映会を楽しんでもらいました。また、500円の参加費のうち100円をACEの「スマイル・ガーナ・プロジェクト」へ寄付させていただきました。上映会後はPeACEメンバーの進行で、感想共有や簡単なディスカッションを行いました。参加者の方からの上映内容の積極的な意見や感想をいただき、ただ観るだけにとどまらないプログラム内容になりました。PeACEメンバーも学ぶことの多い上映会になりました。

## ●児童労働反対世界デーキャンペーン 2011 賛同イベント一覧

開催日・期間	イベント名	主催団体名	参加者
4/28(木) - 5/18(水)	国境なき子どもたち写真展 2011 『『コヒスタン、瞬く瞳の中で』～パキスタンの子どもたち～』	(特活) 国境なき子どもたち(KnK)	675
4/29(金)	THINK AGAIN vol.9	(特活)グッドネーバーズ・ジャパン	80
5/11(水) - 6/25(土)	プラン・おとなスクール ～子どもたちが見た、児童労働の現実	(財)日本フォスタープラン協会(プラン・ジャパン)	48
5/14(土)	Fair Trade - Towns and Forests	「世界フェアトレード・デー2011 in 東京」実行委員会	600
5/16(月)	公開研究会 「ISO26000-ラギー・フレームワークと児童労働の関係性」	児童労働ネットワーク(CL-Net)	18
6/5(日)、12 (日)	チャリティー・バザール(柏市・千葉市)	(特活)日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)	500
6/10(金)、 6/11(土)	STOP!児童労働アクション 2011	(社)アムネスティ・インターナショナル日本	20
6/12(日)	ファッションで世界を変える ～危険・有害労働から子どもを守るために～	CL-Net、ILO 駐日事務所、 NGO-労働組合国際協働フォーラム、	329
6/12(日)	めっちゃ学校行きたいねん！御堂筋ウォーク 2011	(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	50
6/12(日)	6/12(日)、福岡天神で 児童労働反対のための署名活動に参加しよう！	(特活)ソルト・パヤタス	145
6/18(土)、 6/19(日)	写真展【My film Your film -世界の子どもたちから-】	ACE 学生チーム PeACE	19
		【イベント参加合計人数】	2,484

## キャンペーン 2011 実績一覧

●イベント数	11 件
●イベント参加者数	2,484 名
●メディア掲載数	18 件
●ウェブサイト訪問者数	4,224 名
●アクション提示数	6 件
●署名数	212,346 筆

●賛同団体数  
(キャンペーン終了時点) **37 団体**

CL-Net 会員団体 22  
キャンペーン賛同団体 15

●ツイッター フォロワー数 **673 名**

### \*メディア掲載(一部)

【新聞】朝日新聞／毎日新聞／毎日 Weekly／産経新聞／  
福祉新聞／佼成新聞／新聞赤旗  
【ラジオ】ロハスサンデー／FM FUJI  
【ウェブ】毎日.jp／My Lohas／アメーバニュース  
【雑誌】アイユ／Big Issue

# ●児童労働反対世界デーキャンペーン 2011 決算

2011年9月9日現在

単位(円)

## 【収入】

大科目	項目	2011年予算	2011年実績	内訳等
キャンペーン運営費	賛同団体	50,000	65,000	5,000円×13口(12団体)
	賛同企業	20,000	30,000	1万円×3口(3企業)
	賛同個人	0	6,000	2000円×3口(3名)
NGO-労働組合国際協働フォーラムより		150,000	150,000	広報物作成費(委託)として
CL-Net予算より		59,990	0	
収入合計(A)		279,990	251,000	

## 【支出】

大科目	項目	2011年予算	2011年実績	内訳等
広報費(印刷物)	ポスター	20,000	16,200	A2、片面(フルカラー)×300枚、6/12イベント広報を兼ねる
	ちらし	60,000	49,440	A4、両面フルカラー×2万枚、6/12イベント広報を兼ねる
	ちらしデザイン料	40,000	40,000	ちらし、ポスターデザイン代として
広報費(ウェブサイト)	ウェブデザイン料	10,000	10,000	ウェブサイト用バナーデザイン代として
	ウェブサイト作業費	50,000	50,000	ウェブサイト更新・管理作業代として
	ドメイン管理料	2,990	2,990	
署名関連費用	署名カード作成費	2,000	2,197	署名用紙内部印刷
	署名ウェブシステム作成費	0	52,500	署名ウェブシステム作成費として
	署名報告郵送費	10,000	0	決算時点で未発送のため
送料		30,000	19,570	ちらし、ポスター発送料等
消耗品		10,000	0	未払い
印刷費		10,000	5,226	メインイベント配布物、企画書等
交通費		5,000	0	
予備費		30,000	735	銀行手数料等
支出合計(B)		279,990	248,858	
収支合計(A-B)		0	2,142	

※児童労働反対世界デー 映画上映会&シンポジウムについては、NGO-労働組合国際協働フォーラム、国際労働機関(ILO)駐日事務所との共催イベントのため、収支を本予算とは別に管理・運営しています。

※収支の残金2,142円は消耗品の未払い分へ充当させていただきます。

## ●キャンペーン 2011 を振り返って <成果と課題>

今年3月11日の東日本大震災の発生の影響を受けた中での実施となりました。既にキャンペーン実施に向けた準備が進んでいた中で、この状況下での実施の是非を児童労働ネットワークの運営委員で検討した結果、これまで進めてきた児童労働撤廃のための歩みを止めてはならない、という意見で一致しました。会員・賛同団体の多くが被災地域の支援に乗り出し、予定されていたイベントも中止されるなどの影響により、例年より小規模になるという前提でのキャンペーン実施の決定でした。

そのような状況の中、今年は15団体からご賛同をいただき、新たに加わった1団体を含むCL-Net会員22団体と併せて、過去最高の37団体でキャンペーンを実施することが出来ました。キャンペーン賛同団体の主催で開催される賛同イベントについては、イベント11件(昨年24件)、参加者数が2,484名(昨年9,515名)と小規模ながらも、東京、千葉、大阪、福岡で充実したイベントが開催されました。署名はこうした状況を鑑み例年のように目標数を設定せずに実施しましたが、過去最高の212,346名のみなさまからのご協力をいただくという予想外の嬉しい結果となりました。このように、児童労働撤廃をすすめる運動をさらに広げる成果を出すことができました。ご参加・ご協力をいただいた皆様に、心よりの感謝を申し上げます。

また、今年のキャンペーンは「身近なアクションで児童労働をなくそう！」をキャッチフレーズに、より多くの方に具体的なアクションをとってもらうことを目指してチラシやウェブサイトで具体的なキャンペーン参加方法を紹介しました。イベントへの参加、署名への協力、フェアトレード商品の購入などを紹介し、またTwitterでハッシュタグ#STOPCLを使ってつぶやいていただくよう呼びかけました。CL-NETとしても、ウェブサイトからの署名をより簡便にするための専用ページの設置や、児童労働ネットワークとしてつぶやきを増やすなど、このキャンペーンが広がるよう努めました。6月12日(日)に開催されたメインイベントにおいても、参加者が自分が今後取るアクションを宣言する「アクションモニュメント」を設置。アンケートで「イベントに参加して、アクションを取ろうと思ったか」と聞いたところ、この項目にお答えいただいた全員(162名)がそう思ったと回答いただき、メインイベントを参加者を行動に駆り立てるプログラム内容に出来たことは、今年のひとつの成果であったと言えます。

一方で、児童労働反対世界デーキャンペーンの成果指標の設定やアドボカシー効果についての検証方法が確立されていないこと、また世論を巻き込むような運動の展開が出来ていない点が課題として残っています。2012年に向けて引き続きのご参加・ご協力を、どうぞよろしく願います。

### 児童労働ネットワーク会員団体 (22) (キャンペーン終了時点)

(特活) アジア日本相互交流センター (ICAN)  
(社) アムネスティ・インターナショナル日本  
(特活) ACE  
(特活) エファジャパン  
(特活) かものはしプロジェクト  
(特活) グッドネーパーズ・ジャパン  
グローバル・ヴィレッジ/ピープル・ツリー  
(特活) 国際子ども権利センター  
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会 (IUF-JCC)  
(財) 国際労働財団 (JILAF)  
情報労連(情報産業労働組合連合会)  
(社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
(特活) ソルト・パヤタス  
(特活) テラ・ルネッサンス

(特活) 日本オーガニックコットン流通機構  
日本労働組合総連合会  
働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン (OLAL)  
フード連合  
フェアトレード・リソースセンター  
(特活) フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
UIゼンセン同盟  
珈琲工房ラパン・ヴェール (L'atelier du Lapin Vert)

### キャンペーン賛同団体 (15)

(特活) アーユス仏教国際協力ネットワーク  
アジアの女性と子どもネットワーク  
(特活) アフリカ日本協議会 (AJF)  
エイズ孤児支援 NGO・PLAS  
NTT 労働組合

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)  
(特活) 国境なき子どもたち (KnK)  
合同出版(株)  
ザ・ボディショップ  
(株) 晶文社  
(特活) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会 (JFSA)  
(特活) ハンガー・フリー・ワールド  
(特活) ヒューマンライツ・ナウ  
公益財団法人プラン・ジャパン  
(特活) ワールド・ビジョン・ジャパン

### キャンペーン協力学生団体 (2)

PeACE (Possible Everything ACE : ピース)  
SFCC (Slow Fashion Culture Creative)

## 児童労働ネットワーク(CL-Net)は、会員を募集中です！！

会員になると、会員のメーリングリストや学習会、運営会(オブザーバー参加)に参加することができます。

### 会員になるには？

○郵便振替口座：00160-8-685281  
口座名義：児童労働ネットワーク  
○銀行振込口座：三菱東京UFJ銀行 上野支店  
普通口座 5413699  
口座名義：児童労働ネットワーク

○会員の種別と会費(会費期限は毎年10月～翌9月)

正会員 (総会での議決権あり)	団体	一口10,000円 (一口以上)
	個人	一口5,000円 (一口以上)
協力会員 (総会での議決権なし)	個人	一口1,000円 (一口以上)

※振替用紙の通信欄には、必ず会員の種別と口数をご記入ください。  
※お振込みをいただいた際は、事務局までご連絡ください。

■この短気は児童労働ネットワークのイベントにご参加いただいたみなさま、またネットワークの会員団体とつながりのある皆様にお送りしています。  
送付先の変更や送付不要の場合は、事務局までご連絡ください。

## 児童労働ネットワーク (CL-Net) 事務局

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-6-4 あつきビル 3階 (特活) ACE 内

TEL:03-3835-7555 FAX:03-3835-7601 E-mail:info@cl-net.org URL:http://cl-net.org/

